

何事もとにかく楽しむ！

西区を拠点に活動する女子サッカーチーム・アンジュヴィオレ広島で副キャプテンとして活躍する神田選手。2021年の目標は、「とにかく楽しむこと！試合や練習など何事にも楽しんで取り組み、皆さんに元気な姿を見てもらいたいです」

今年はまだしこリーグに昇格しチームとして挑戦の年になるという神田選手。「地域の皆さんに愛されるチームであるため、いつも以上に楽しんで頑張りますので、これからも応援をよろしくお願いいたします」と語ってくれました。



アンジュヴィオレ広島
神田 若帆選手

先輩に追いつき、頼られる存在に

入庁1年目の堀田さんは、民有地と市道の境界を定めることが主な仕事です。「個人の財産に関わる仕事のため、責任が大きく難しいですが、その分とてもやりがいがあります。自分に関わって市の道路が認定されたと考えたら、達成感を感じます」

地元で貢献するため広島市に就職を決めた堀田さんは、今年の抱負について、「自分も早く先輩に追いついて、地域の役に立ち区民の皆さんに頼られる存在になれるよう頑張ります！」と語ってくれました。



西区役所維持管理課
堀田 悠司さん

はばたけ! 24(にし) 西区の24歳

区民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年も「西区民だより」をよろしくお願いいたします。今回は西区で活躍する丑年生まれ、今年24(にし)歳になる皆さんに新年の抱負を語ってもらいました！

周りから信頼される消防士に



西消防署 己斐出張所
北村 直矢さん

幼い頃から消防士に憧れていたという北村さんは、平成30年の豪雨災害の時、実際に現場で活躍する消防士の姿を見て感銘を受け、消防士になる決意をしたそうです。「日頃の訓練と経験を積んで、周りから信頼される消防士になることが目標です」

現場に出るとスイッチが入り、恐怖を感じないという北村さんは、区民の皆さんに対して、「西消防署員がいるから安心して生活できると言ってもらえるよう今後も頑張ります」と、力強く語ってくれました。

後輩の良いお手本になりたい



建設会社勤務
吉本 佳世さん

3歳の頃から西区に住んでいるという吉本さんは、建設会社に勤め、インフラ整備やまちづくりに関する仕事をされています。「西区はとても住みやすく良い町です。地元貢献できるという理由で、今の会社に入りました」

3年目となる4月からは今はまだいない後輩ができるかもしれないという吉本さん。今年の目標は、「自分が良いお手本となれるような年にしたいです。できることを今からしっかり準備していきます」と笑顔で決意表明をしてくれました。

「元気なまちづくりプロジェクト」 地域団体の活動を支援します

市では「元気なまちづくりプロジェクト」として、地域団体や商店街などが、新型コロナウイルス感染症による影響に打ち勝ち、地域の活性化やにぎわいの創出に向けて地域の魅力を高めるために行う新たな取り組みに対して支援をしています。今回は、西区でこのプロジェクトに採択された4つの事業を紹介します。園地域起こし推進課(☎532-0927、☎232-9783)

よこがわ世代間交流による まちづくり事業

コロナ禍による外出自粛の影響などで、運動する機会が減ってしまった現状を打破し、誰もが気軽にスポーツとカルチャーを楽しめるまちを目指します。子どもたちが思い切り体を動かし、創作活動できるイベントや、親子でできるリズム体操の製作などを企画しています。横川を中心に、親子が地域住民とともに楽しめるまちにすることで、さまざまな世代間交流を促進します。実施団体 広島横川スポーツ・カルチャークラブ



昨年のイベントの様子

アーティストの創作活動が気軽にでき、アートであふれるまちづくりを進めます。大学生と協力して「まちなかマッチングスペース」を開設し、地域の活動拠点として活用したり、横川駅前の広場を活用してイベントが行えるよう、テントやステージを整備する予定です。他にも、スマートフォンを活用したまちめぐり情報の発信なども企画しています。実施団体 横川エリアマネジメント連絡協議会

コ・イルミネーション



実施団体 西広島にぎわいづくり実行委員会

現在、広電西広島駅横の交流スペース「KOI PLACE」を中心とした西広島駅周辺エリアで、ライトアップを行っています。色とりどりのライト・電飾のほか、周辺店舗の店頭には「己斐」にちなんだ「鯉」をモチーフにした行燈が並び、己斐のまちを明るく照らしています。2月28日(日)まで開催予定です。己斐のまちを歩いて、写真に収めて楽しんでください。



横川・三篠地区交流促進及び賑わい創出事業

Be Active! 庚午ハイブリッド コミュニティ事業

庚午地区の世代間交流を活性化するため、デジタルとアナログを融合させたまちを目指します。独自のスマートフォンアプリを使って、動画中心の情報発信やIoT技術を駆使した見守りシステムなども開発します。地区の行事をライブ配信したり、プロジェクションマッピングを展開するなど新しい「ICTイベント」も続々導入していきます。実施団体 庚午未来会議